

国際商業貿易城 1区

建築面積34万㎡、玩具やアクセサリを中心に日用品を扱う店舗が1万店以上入るモール。1区以上の大きさを誇るモールが5区まで隣接しています。



世界の地域から

義烏市 (中華人民共和国)



国際商業貿易城モール内の様子

通路の両側に1.5m×3mほどの広さの店舗が並び、商品が溢れています。1日8時間にわたり各店舗を3分間ずつ見学したとしても、全店舗を見終わるには一年半以上が必要となる計算になります。



義烏市は中国東南沿海の浙江省の中部に位置し、改革開始以来、「商業を勃興し、都市を建設する」という発展戦略を堅持し、特徴的な発展への道を切り開いてきた都市です。

今では国連や世界銀行等の国際機関から「世界最大の日用雑貨卸売市場」と称えられるほどで、現在219の国・地域と交易があり、世界各国のビジネスマンにとって国際貿易を展開する重要な拠点となっています。2012年には65.4万コンテナの商品が義烏市から世界各地へ輸出され、対外貿易量は域内GDPの65%以上を占めています。

また、国家レベルの見本市も多く開催されるなど、国際的な商業貿易都市へと発展しました。

= CLAIRメルマガ読者募集中！ =

観光、物産、交通、IT、環境など海外お役立ち情報満載のメールマガジンを好評配信中
右の二次元バーコード、または“CLAIRメルマガ”で検索、登録をお願いします





梅湖スポーツコンベンションセンター

多くの国家レベルの見本市が開催されるとともに、スポーツ大会の会場にもなります。



国際商業貿易城5区

5区は輸入品館となっており、世界5大陸80以上の国と地域から4.5万種類の商品が展示・販売されています。

篁園服装市場

義烏で最も栄えている繡湖地区に位置するファッション・アパレル専門市場です。



繡湖公園

市内中心部にある公園。左側に見える大安寺塔は宋王朝時代の1100年に最初に建設されたもので、義烏の歴史及び文化の象徴となっています。



佛堂古鎮

300年近くの歴史を有する街並みがある。そのままで残る商店街。明朝時代の建築物の中に現代的な商店も見られます。

双林寺

1500年近くの歴史を有する名刹。この寺から日本へ仏教を伝えた僧侶が多いとされ、義烏と日本の交流の原点であるとも言えます。

